

**株式会社ウェッジホールディングス
2009年9月期第2四半期
決算および事業説明会**

2009年5月14日

**株式会社ウェッジホールディングス
代表取締役社長 田代 宗雄**

Contents

■ ウェッジHDグループのご紹介

- ◇ 企業概要
- ◇ グループ沿革
- ◇ 3つの事業セグメント
- ◇ ウェッジHDグループ各社
- ◇ コンテンツセグメントの主要事業
- ◇ 物販セグメントの主要事業
- ◇ 投資育成セグメントの主要事業

■ 2009年9月期第2四半期累計の経営成績について

- ◇ 第2四半期の業績進捗について
- ◇ 各事業セグメントの概況
- ◇ 業績の要因と事業の再編
- ◇ グループの資本政策と基盤整備

■ ウェッジHDグループ事業の主要トピックス

- ◇ 株式会社ウェッジホールディングス
- ◇ 株式会社エースデュース
- ◇ 株式会社エンジン
- ◇ Group Lease PCL

■ 下期の施策と今後の見通しについて

- ◇ 下期進行中の施策について
- ◇ 2009年9月期通期連結業績予想

ウェッジHDグループのご紹介

企業概要

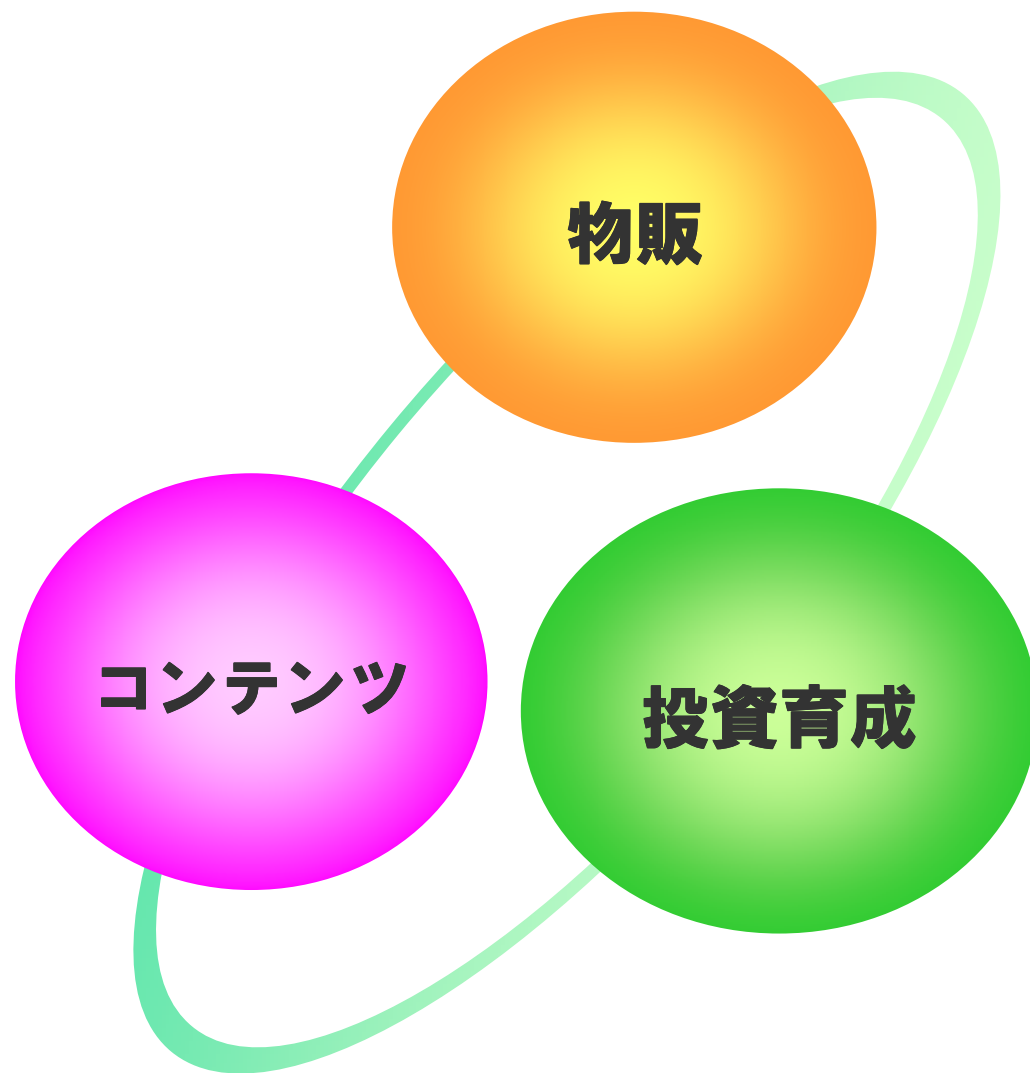
- **会社名: 株式会社ウェッジホールディングス**
(英語表記: Wedge Holdings CO., LTD.)
- ◇ **設立** : 2001年10月
- ◇ **資本金** : 1,189,140,900円
- ◇ **代表者** : 代表取締役社長 田代 宗雄
- ◇ **本社所在地** : 東京都千代田区神田錦町一丁目1番地 神田橋安田ビル4階
- ◇ **グループ会社**
 - ◆ 株式会社エンジン (完全子会社)
 - ◆ 株式会社エースデュース (完全子会社)
 - ◆ 株式会社ラディクスモバニメーション (完全子会社)
 - ◆ 株式会社スピニング (完全子会社)
 - ◆ Group Lease PCL (グループリース社:持分法適用会社 タイ証券取引所一部上場)
 - ◆ Engine Holdings Asia PTE (株式会社エンジン完全子会社)
- ◇ **グループ役職員数** 109名 (2009年5月現在・持分法適用会社を除く)

グループ沿革

- | | |
|----------|--|
| 2001年10月 | 株式会社ブレインナビ設立 |
| 2001年11月 | 原稿事業、出版事業、その他事業を開始 |
| 2004年1月 | 大阪証券取引所ヘラクレス市場に株式上場、翌年にかけて、投資組合組成、投資会社設立と、株式会社エンジンをはじめとする数社の買収によりグループを組成、現在の三事業体制となる |
| 2005年7月 | 会社分割により株式会社ウェッジホールディングスとして持ち株会社に移行、その後一部の子会社の吸収により事業持ち株会社に |
| 2007年9月 | 第三者割当増資により、APFグループの明日香野ホールディングス株式会社が筆頭株主に |
| 2007年12月 | 新経営体制にて改革を開始、2008年9月期末で黒字転換 |
| 2009年2月 | 株式会社エンジンが投資事業子会社「エンジンホールディングスアジア」を設立。4月資本増強に伴い特定子会社となる。 |
| 2009年3月 | APFグループ含む4社に対し第三者割当増資を実施、資本増強 |

昨年来の改革は継続中、現在は新たな成長ステージの基盤整備段階

3つの事業セグメント



■ 物販事業

- ◇ キャラクター関連商品事業
- ◇ 商品企画開発

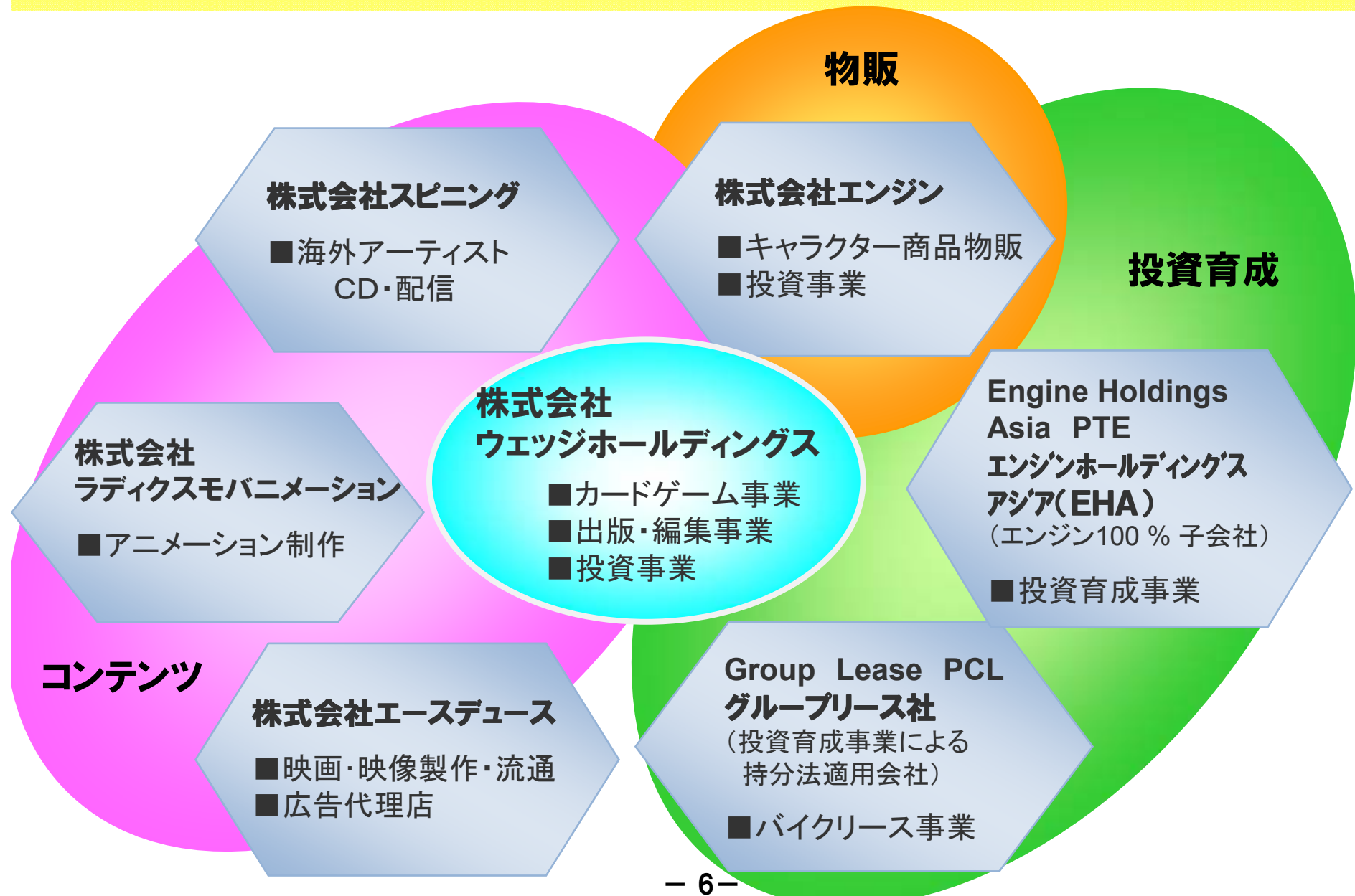
■ コンテンツ事業

- ◇ カードゲーム・編集・出版・映画・アニメーション・音楽・事業

■ 投資育成事業

- ◇ 投資組合運営事業
- ◇ 国内外への投資事業

ウェッジHDグループ各社



コンテンツセグメント 主要事業

カードゲーム事業



- トレーディングカードゲームの企画・制作コンサルティング

編集・出版事業



- エンターテインメント領域の編集プロダクション・出版事業

映画・映像・音楽 関連事業

- 小規模作品を中心に映画・映像作品を製作、DVDパッケージなどの流通



- 欧米音楽アーティストの国内プロデュース、CDパッケージなどの流通

物販セグメント 主要事業

小売事業

●「プリスター」ブランドでのフィギュア・トイなどのキャラクター商品販売



●「プリスター」店舗およびECサイトでの販売を展開

卸売事業



●「プリスターダイレクト」ブランドでのキャラクター商品の正規輸入代理店事業

「たのみこむ」事業

- 商品リクエストサイト「たのみこむ」の運営、企画商品通販
- OEM商品企画・販売事業



投資育成セグメント 主要事業

タイ国内 バイクリース事業

- 持分法適用会社グループリースによるバイクリース事業



その他の投資事業

- 国内外の優良投資案件への投資活動
- その他の短期投資・融資事業

**2009年9月期第2四半期累計の
経営成績について**

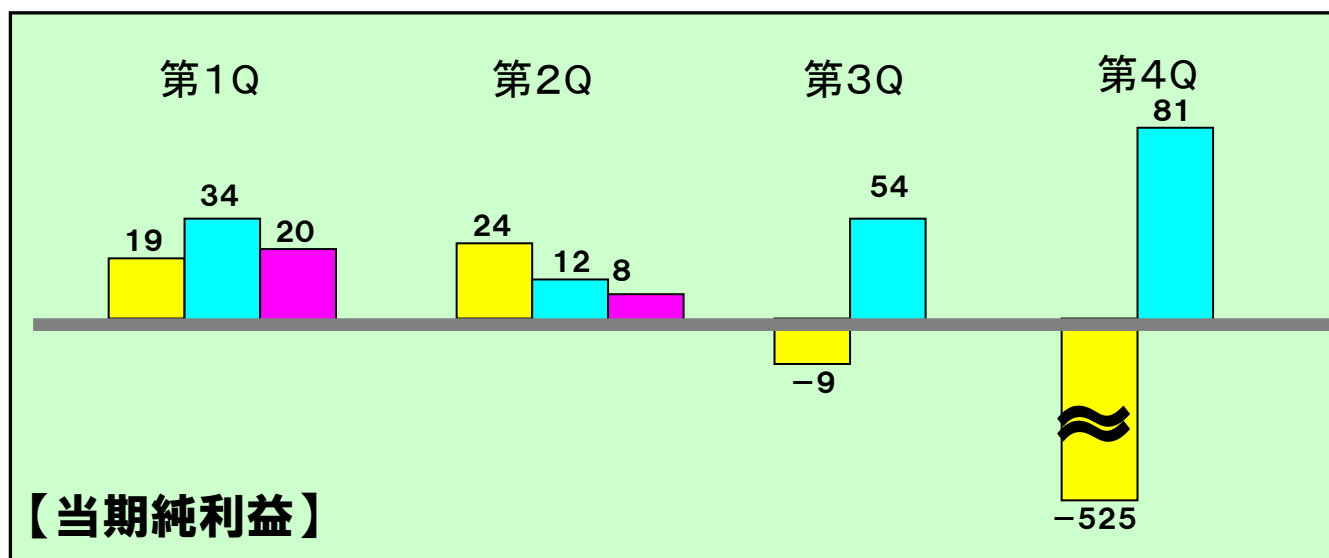
第2四半期の業績進捗について

営業損失が拡大するも、最終利益は確保

■ 連結経営成績

	2009年9月期 第2四半期累計	2008年9月期 第2四半期累計	対前年比
売上高	901	977	92.2%
営業利益	▲43	▲1	-
経常利益	29	18	161.1%
当期純利益	8	12	66.7%

(単位:百万円)



(単位:百万円)

2007年9月期

2008年9月期

2009年9月期

各事業セグメントの概況

経済環境変化に対応すすめるが、コンテンツ・物販は不調。
堅調な投資育成部門が収益を支える。

物販

売上高
2億84百万円
営業利益
▲35百万円

- ◆端境期であるこの時期
卸売・小売ともに苦戦
- ◇たのみこむのOEM
事業が売上を補う

コンテンツ

売上高
5億90百万円
営業利益
▲21百万円

- ◆アニメ・DVD・CDパッケージ
関連の収益が悪化
- ◇カードゲーム事業は好調維持

投資育成

売上高
26百万円
営業利益
3百万円
(持分法適用利益)
72百万円

- ◇グループリースの持分法
適用利益は堅調に推移

業績の要因と事業の再編

■ 営業損失の要因

- ◇ CD、DVDパッケージ関連の売上が低調(映画・音楽等)。
特に映画・映像系製作作品で回収が見通しを下回ったことが大きな下方要因
- ◇ 係争案件を抱え不採算のアニメーション事業、売上が安定化しないタレント事業も損失継続。
- ◇ 2Qが商品納品の端境期に当たる物販事業も営業損失。
(OEM事業の健闘などで、2Qの損失は予算内でとどまる。)

■ 不採算事業の縮小と固定費圧縮

- ◇ アニメーション事業(ラディクスモバニメーション)
 - ◆ アニメーション制作事業は依然厳しい状況が続くと判断。
上半期で事業体制の大幅な縮小を断行。収益が見込めないと判断された3Dアニメーション制作事業の資産を中心に設備等約21百万円を特損計上。
- ◇ タレント事業・映像事業(エースデュース)
 - ◆ 不採算が続いていたタレントマネジメント事業は大幅縮小に。
事業責任者の子会社代表も退任し体制を刷新。
 - ◆ エースデュースの事業所は3箇所から1箇所に集約。
映画・映像関連事業も含めて全体で固定費の圧縮に努める。
- ◇ 音楽事業(スピニング)
 - ◆ ウェッジHD本社内への事業所集約で固定費圧縮。
利益体質強化とグループ連携の向上を図る。

グループの資本政策と基盤整備

■ ウェッジHDの資本増強

- ◆ 2009年3月 筆頭株主であるAPFグループを初めとする4社を割当先として、新株発行による第三者割当増資を実施
 - 総額約8億4千万円の資本を調達、自己資本比率は62.6%に
 - 財務の改善と投資拡大に対する原資を確保
 - 払込完了後もAPFグループが筆頭株主となり役員の異動もなく支配権に変更はなし（5月現在APFグループ保有比率合計約45.9% 増資前40%）

■ シンガポールに投資会社を設立、増資

- ◆ 2009年1月シンガポールに投資法人、Engine Holdings Asia PTEを設立、その後資本を大幅に増強
 - 増資払込後資本金は470万シンガポールドル(約3億円)、特定子会社に
 - 東南アジアを中心とした今後の成長領域に対する投資インフラとして、今後投資育成事業の中核会社に

■ グループリースの株式を追加取得、筆頭株主に

- ◆ 2009年3月持分法適用会社 Group Lease PCLの株式を追加取得 長期保有を通じた配当および投資利益の継続的な獲得を期待
 - ウェッジグループでの保有比率は約48.6%、筆頭株主に
 - 社外役員を派遣、グループとしての連携を強化

資本増強と共に、収益性の高い投資育成事業の基盤整備を推進

**ウェッジHDグループ
事業の主要トピックス**

株式会社ウェッジホールディングス

■ カードゲーム事業は好調持続、新作リリースで事業拡大目指す

- ◇ 収益の柱であるカードゲーム事業は好調を継続。
既存作品が収益を支える。
- ◇ 第二四半期からは株式会社ブシロード様にディベロッパーとして
制作協力し、新作カードゲーム2作品発表。



● 女性向けカードゲーム
『アリス×クロス』
発売元:株式会社ブシロード



● 男性向けカードゲーム
『Chaos -character operating system-』
発売元:株式会社ブシロード

株式会社エースデューズ

■ 主力の映画・映像製作・流通も不調

不採算のタレント事業縮小とともに、固定費圧縮で収益改善図る

- ◇ 昨年作品製作数を増やした映画、映像作品のDVDパッケージのリリースが増加（上半期自社製作作品のパッケージリリースは22作品、対前年同期比129%）となるが、販売・レンタルなどの回収が期待に届かず。
- ◇ 不採算のタレント事業を大幅縮小。事務所集約等、固定費を圧縮。
- ◇ 製作作品の2次収入の営業を強化。パッケージ販売、レンタル収入への依存度を下げる事業体制へシフトを図る。



2009年1月31日公開
映画『花婿は18歳』



2009年2月21日公開
映画『戦国 伊賀の乱』



2009年3月14日公開
映画『イケメンバンク』

ACEDEUCE inc.



2009年3月28日公開
映画『ヨモシヌ DEATH COMIC』

映像作品の流通と二次利用収入の確保に事業シフトを図る

株式会社エンジン

- 2Qが端境期の物販事業は低調ながら「たのみこむ」のOEM事業は健闘
 - ◇ 商品の生産拠点が集中する中国の旧正月時期は例年入荷が減ることから卸売・小売共に低調に
 - ◇ 今期よりエンジンに移管された「たのみこむ」事業が独自の商品企画開発を展開。売上げを補う



北斗の拳「ジャギ・ヘルメット」
販売価格:157,500円(税込)



ビートたけし&所ジョージのアクションフィギュア
販売価格:29,800円(税込)



所さんのDAITAI時計Ver.1.2.2
販売価格:34,650円(税込)

Group Lease PCL

投資育成事業による持分法適用会社
タイ証券取引所一部上場 証券コードGL

■ タイ国内バイクリース事業は堅実に展開、利益も増加

- ◆ タイ国内バイクリース市場では現在4位。
- ◆ 不況下でも収益性の高いバイク事業の専業で、効率経営
- ◆ 2008年12月度最終利益は約5億5千万円
(対前年比約140%増)の好業績

■ 3月株式を追加取得し筆頭株主に 役員も追加派遣し、グループ連携を強化

- ◆ ウェッジHDグループの持株比率は、
約28%から約49%へと増加。
- ◆ 4月当社経営陣から2名が同社取締役に就任。



下期の施策と今後の見通しについて

下期進行中の施策について

■ コンテンツ事業・物販事業は「守り」を固める

- ◇ 前期拡大した作品投資は抑制方向へ、事業環境の見極めを行う。
- ◇ 固定費削減は一巡。収支管理を慎重に行いながら各事業での採算改善を図る。

■ 投資育成事業は成長領域。

「攻め」の姿勢で機会追求と支援体制の整備を進める。

- ◇ 不況を好機に有利な事業拡大機会を継続的に探求。
- ◇ 前期からの経営改革の一環で続けてきたグループ内の事業部門に対する事業支援活動は縮小傾向に。対外的な活動へ社内資源を移行。
- ◇ 今後は新たな投資先の事業に対する、事業支援機能の拡充を図る。事業支援に向けた人材の積極採用や支援システムの整備に注力。

今期初めからの事業方針に変更はなし。
今後も環境変化に対応しつつ、改善を継続。

2009年9月期通期連結業績予想

不採算事業の縮小の結果、売上は下方修正するも
持分利益の増加で経常利益、純利益は上方修正

(単位:百万円)

	2009年9月期 (5月修正予想)	2009年9月期 (期初予想・修正前)	修正幅	2008年9月期 (参考)	対前年比
売上高	2,200	2,400	▲200	2,139	102.9%
営業利益	60	100	▲40	62	96.8%
経常利益	260	250	10	146	178.1%
当期純利益	240	230	10	81	296.3%

- 上半期の売上未達と不採算事業の縮小を反映し売上予想は下方修正
- 下半期は利益回復予定だが、上半期の損失を反映し、営業利益は前年と同水準を見込む
- グループリースの持分法適用利益は増加。経常利益・純利益は上方修正

ご清聴ありがとうございました

弊社IRに関するお問い合わせ先

株式会社ウェッジホールディングス
経営管理本部

TEL: 03-5217-0721

FAX: 03-5217-0722

wedge-ir@wedge-hd.com

弊社ホームページ: <http://www.wedge-hd.com>

- ※ 本資料には将来に関する記述が含まれていますが、これらの記述は将来の業績を保障するものではありません。また、本資料の内容に関しては未監査であり、その内容の正確性および確実性を保障するものではありません。